

とかの
戸叶 太一さん
(豊代町)

キラリ★
話題の「ひと」



○プロフィール

公益財団法人ボーイスカウト栃木県連盟理事／ボーイスカウト安蘇第二団ビーバー隊隊長／あそ商工会青年部員／楽盛会(宅配サンタ)／オカリナの里作り推進委員／サイクルタウンさの推進委員

自然の教室で学ぶ大切なこと

令

和4年で創立百周年を迎えたボーイスカウト日本連盟。今回ご紹介する戸叶太一さんは、栃木県連盟の理事を務めており、約50人が所属するボーイスカウト安蘇第二団では、ビーバー隊(小学1・2年生)の隊長をまかされています。

日本連盟が主催する4年に1度開催の日本スカウトジャンボリーには、高校1年生のときに初めて参加し、その後の大会では指導者としても参加されています。

戸叶さんがボーイスカウトを始めたのは、中学1年のときに友人に誘われたのがきっかけです。高校生になるときは、シニアスカウト(現名称:ベンチャースカウト)として、最高位階級の富士章を取得しました。富士スカウト顕彰では東宮御所を表敬訪問し、117人の代表スカウトとして当時の皇太子殿下(現天皇陛下)に謝辞を述べられたことが一番の思い出です。その当時からスタートした指導者としてのキャリアは25年になり、現在では指導者養成の講師もされています。



▲紅葉の中行われたビーバー隊集會



◀活動の様子はこちら

「引っ込み思案だった子が、仲間たちとの交流や野外活動などの体験を重ねていく中で、自信をつけて成長した姿を見られたときは本当に感動しました」と話す戸叶さん。子どもたちに教えることが自分の成長にもつながると感じるそうです。

お話を伺った安蘇第二団の活動拠点である中町の萬福寺前の広場では、子どもたちが「立ちかま」というものを製作していました。木を組んで、地面から離れた場所にかまどを作ることによって料理がしやすくなり、天気に合わせて移動もできる、キャンプには欠かせない大切な道具だそうです。「自然の教室の中で自分が経験して得たことを、恩返しするようなつもりで指導しています」と、隊長としての思いを語っていただきました。(市民記者 小林春美)

市長からの

メッセージ

あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年は卯年です。うさぎはその穏やかな様子から「家内安全」を、跳躍する姿から「飛躍」を表すとされています。本市もうさぎにあやかりまして、市民の皆さんが明るく生活できる環境づくりをしっかりと進め「進化」を感じていただける年にしたいと考えております。

本市の宝ともいうべき天明鑄物については、商標登録を特許庁に出願しており、鑄物業の隆盛に向けた登録実現のための取り組みを着実に進めてまいります。また、天明鑄物生産用具の国重要有形民俗文化財への指定についても、文化的な価値を次の世代につないでいけるよう全力を尽くします。

昨年9月には出流原スマートインターチェンジが開通し、今までも増して高速交通の利便性が向上しました。その利便性を生かした新たな産業団地の造成を進めるとともに、国道50号沿線についても西側エリアの開発事業をしっかりと進めてまいります。

現在制定を進めております「佐野市健康長寿推進条例」「佐野市シニア地域デビュー条例」につきましては、各条例の理念に基づいた施策を展開してまいりたいと考えております。

長期化している新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰については、市民の命と暮らしを守り抜くためにさまざまな対策に取り組んでまいります。また、官民一体となったデジタル技術の活用に向けた環境づくりや、近年の激甚化・頻発化している災害を踏まえ、防災・減災、国土強靱化への取り組みもしっかりと進める決意です。

本年も市民の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

金子裕





本光寺の四国霊場の石碑

析 本町の本光寺境内に四国88カ所霊場の石碑が建立されたというので参拝してきました。巡礼にもさまざまありますが、四国は遠いし、寺院数も多いのでそう簡単に出掛けられません。筆者自身も昨年計画していましたが、コロナの影響で中止しました。住職の高田光寿さんは、3年前に88カ所を巡礼し、そのときにお寺の境内にあった小石を持ち帰りました。その石が一つのお寺ごとに立てられた石碑(石柱)の上部に埋め込まれています。

石柱を順にお参りし、巡礼の功德や雰囲気を感じてほしいとのことでした。なお、本光寺には佐野氏歴代の墓所があります。場所はお寺の裏の丘、中腹付近です。そこからは遠く富士山も見えます。お正月の運動不足解消にも散歩を兼ねて出掛けるのもお勧めです。

(市民記者 福田満)



▲本光寺境内に建立された四国88カ所霊場の石碑

さのマラソン大会が4年ぶりに開催

12 月11日(日)、佐野市運動公園を発着として、さのマラソン大会が開催されました。同イベントは、新型コロナウイルスなどの影響により中止が続いていましたが、今回は規模を縮小することで、4年ぶりの開催となりました。今年も、5キロ、2キロ、親子ジョギングの部が行われ、多くのランナーの方にご参加いただきました。また、ゲストランナーとして、吉本興業所属のお笑い芸人「がんばれゆうすけ」さんが参加され、参加ランナーとの楽しい掛け合いを見せてくれました。

会場には、「佐野らーめん」などのご当地グルメをはじめとするフードコーナーもあり、参加者をおもてなししていました。



「お晩です」は、普通「お晩でヤンス」というが、お晩でヤンスということもあります。上方で使っていたヤンスは江戸に伝わり、その後佐野でも使うようになりました。

(市民記者 森下喜一)

佐野弁
ばんでい

かつて広く使われていた「ていねいなことば」ヤンス―敬語その2―

ていねいな意を表す方言に「ヤンス」があります。「ヤンス」は「ガンス」と同様に共通語の「です」や「ます」に相当する助動詞です。明治・大正生まれの人たちは、昭和20年ごろまでヤンスを使っていました。目上の人や見知らぬ人などと対話するときには、特にていねいな意味のヤンスとガンスを使っていました。次は、いろいろな場面で使われるヤンスの用法を挙げてみました。

「何歳になったか」をていねいにたずねるときは「見たところお若く見えヤンスけど、お歳はなんぼになりヤンスタ?」といいます。「来る」をていねいにいうときは「友だちと一緒に来ヤンスべー」といいます。「帰った」をていねいにいうときは、「ハー、ケリーヤンスタゼー」といいます。

ヤンスは、行く・見るなどという動詞と、静か・立派などという形容動詞のあとにつけますが、前回述べたガンスは、よい・ありがたいなど形容詞のあとにつけます。このようにヤンスとガンスの意味は同じであっても、その用法にははっきりした違いがあります。ところで、ヤンスとガンスの使い分けがはっきりせず、混同する例もあります。「そうです」は普通「そうでヤンス」というが、そうでガンスということもあります。

「お晩です」は、普通「お晩でヤンス」というが、お晩でガンスということもあります。

上方で使っていたヤンスは江戸に伝わり、その後佐野でも使うようになりました。

